

# 日本政策総研 みやわき・経済ヘッドライン(2024.8.19)(月2回発行)

日本政策総研代表取締役社長  
宮脇 淳

ご質問・さらに知りたい方は、  
QRコードからご連絡ください



日本経済	①円相場140円台後半から150円前後。円安修正による円高はほぼ一巡
	②世界株安再発時、円高圧力再び増大の危険性。当面は、9月FRB待ち
	③株国内市場、海外売越し幅減少、年金基金・国内法人は買越し傾向
	④企業想定為替レート140~145円程度。円安による為替差益縮小方向
	⑤4-6月期名目600兆円、GDPプラス成長も景気実態は一進一退続く
	⑥建設インフラシステムの海外展開拡大、海外契約の伸び増大
米国経済	①FRB 9月利下げ幅争点。市場は景気後退リスクと利下げ幅見極め姿勢
	②雇用悪化、企業活動減速。債務延滞拡大等で景気減速リスク認識拡大
	③ハリケーン到来と金利高、高止まりの不動産価格等で住宅建設低迷
	④暗号資産業界ハリス氏支持。但し民主党デジタル資産政策見直し要求
	⑤ミシガン大消費者信頼感指数改善傾向、期待インフレ率2.9%で横ばい
欧州経済	①ポルトガル外国人観光客過去最高、ユーロ圏観光業活発化。
台湾経済	①台湾主計総処GDP見通し若干下方修正。AI好調も輸出減速が要因。
中国経済	①若年(16~24歳学生除く)失業率17.1%に上昇、景気低迷さらに深刻化。